



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月27日

上場会社名 株式会社MARUWA 上場取引所 東 名
 コード番号 5344 URL <https://www.maruwa-g.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）神戸 俊郎
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）山口 大介 TEL 0561-51-0841
 半期報告書提出予定日 2026年11月12日 配当支払開始予定日 2026年12月7日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

百万円未満切捨

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	46,921	41.7	17,605	62.4	17,640	58.6	12,119	63.5
2026年3月期中間期	33,115	△4.9	10,843	△15.2	11,123	△7.3	7,413	△12.2

（注）包括利益 2027年3月期中間期 11,822百万円（46.1%） 2026年3月期中間期 8,090百万円（△12.8%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	982.08	—
2026年3月期中間期	600.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	177,262	158,522	89.4
2026年3月期	162,691	147,262	90.5

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 158,522百万円 2026年3月期 147,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	51.00	—	51.00	102.00
2027年3月期	—	55.00			
2027年3月期（予想）			—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,500	36.3	38,300	53.3	38,300	45.5	26,000	43.1	2,106.86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期中間期	12,372,000株	2026年3月期	12,372,000株
2027年3月期中間期	31,073株	2026年3月期	32,114株
2027年3月期中間期	12,340,307株	2026年3月期中間期	12,339,262株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間期連結累計期間は、世界的なインフレとそれに対応した各国の金融政策が意識されたほか、中東・ウクライナ情勢を始めとした地政学リスクが懸念される状況が継続しました。また、AIの需要拡大による投資の活発化と、世界的な半導体需要の高まりが見られました。

そのような状況の中、当社グループでは、情報通信関連において次世代高速通信向けの需要が拡大したことに加え、半導体関連の汎用メモリ向けで需要が回復したほか、車載関連の新エネルギー車向けが堅調に推移しました。以上の結果、売上高は前年同期比41.7%増の46,921百万円、営業利益は前年同期比62.4%増の17,605百万円、経常利益は前年同期比58.6%増の17,640百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比63.5%増の12,119百万円となり、売上及び各利益で過去最高を更新いたしました。

セグメント別の売上高と利益の状況は次のとおりです。

①セラミック部品事業

当事業は、情報通信関連において次世代高速通信向けの需要が拡大したことに加え、半導体関連の汎用メモリ向けで需要が回復したほか、車載関連の新エネルギー車向けが堅調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比44.7%増の41,879百万円、セグメント利益は前年同期比62.7%増の17,806百万円となりました。

②照明機器事業

当事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の高まりにより、高水準で推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は前年同期比21.1%増の5,041百万円、セグメント利益は前年同期比26.7%増の890百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は112,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,121百万円増加いたしました。これは主に売掛金が増加したことによるものです。固定資産は64,964百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,449百万円増加いたしました。

これらの結果、総資産は177,262百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,571百万円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は18,237百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,380百万円増加いたしました。固定負債は502百万円となり、前連結会計年度末に比べ69百万円減少いたしました。

これらの結果、負債合計は18,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,311百万円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は158,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,260百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益12,119百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は89.4%(前連結会計年度末は90.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想について、下期にかけて強い需要が見込まれることから、再度上方修正を行います。

現時点の当社の市場動向の認識及び社内の状況は下記の通りです。

情報通信関連事業は、次世代高速通信関連の次期モデル向けで強い需要を見込んでおります。下期より新たに瀬戸工場新棟にて増産を進めるほか、先を見据えて新技術及び生産強化への投資を加速させてまいります。

車載関連事業は、新エネルギー車市場において差別化製品により業績が拡大する見通しです。下期より新たに土岐工場新棟にて生産体制を拡充するとともに、併せて生産性の改善によりさらなる収益性の改善を図ってまいります。

半導体関連事業は、汎用メモリ向けが堅調に推移する見通しです。第2四半期より稼働を開始した三春工場新棟での生産強化により、需要に対応してまいります。

産業機器関連事業は、パワーモジュール関連が底堅く推移するほか、医療関連の新規製品の需要が増加する見通しです。

照明機器関連事業は、2030年100%LED化の政府目標に向けたLED需要の増加が見込まれ、公共・ハイエンド照明とともに引き続き堅調な業績が期待されます。

収益面については、新工場の立ち上げなど事業拡大のための投資が見込まれるものの、生産性改善により収益性のさらなる向上を図ってまいります。

※為替レートは、1ドル158円を想定しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,185	66,366
受取手形	47	0
売掛金	13,624	18,446
電子記録債権	1,505	1,600
商品及び製品	2,309	3,461
仕掛品	5,354	7,713
原材料及び貯蔵品	8,631	11,076
その他	4,525	3,641
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	103,175	112,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,634	19,055
機械装置及び運搬具(純額)	14,722	15,912
土地	5,750	6,165
建設仮勘定	16,351	20,207
その他(純額)	819	1,093
有形固定資産合計	57,277	62,435
無形固定資産		
その他	438	466
無形固定資産合計	438	466
投資その他の資産	1,799	2,063
固定資産合計	59,515	64,964
資産合計	162,691	177,262

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,254	4,116
電子記録債務	697	566
未払法人税等	3,942	5,526
賞与引当金	1,170	1,332
役員賞与引当金	133	7
その他	4,659	6,687
流動負債合計	14,856	18,237
固定負債		
繰延税金負債	213	143
その他	358	359
固定負債合計	571	502
負債合計	15,428	18,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,646	8,646
資本剰余金	12,170	12,233
利益剰余金	122,660	134,149
自己株式	△198	△193
株主資本合計	143,279	154,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53	88
為替換算調整勘定	3,930	3,598
その他の包括利益累計額合計	3,983	3,686
純資産合計	147,262	158,522
負債純資産合計	162,691	177,262

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	33,115	46,921
売上原価	16,026	20,758
売上総利益	17,088	26,163
販売費及び一般管理費	6,245	8,558
営業利益	10,843	17,605
営業外収益		
受取利息	237	334
受取賃貸料	64	82
その他	111	95
営業外収益合計	413	513
営業外費用		
為替差損	50	441
投資不動産賃貸費用	29	31
株式報酬費用消滅損	40	0
その他	14	4
営業外費用合計	133	478
経常利益	11,123	17,640
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	5	—
補助金収入	42	1,347
特別利益合計	49	1,348
特別損失		
固定資産除売却損	31	76
固定資産圧縮損	42	1,323
その他	1	—
特別損失合計	75	1,399
税金等調整前中間純利益	11,097	17,590
法人税、住民税及び事業税	3,514	5,543
法人税等調整額	170	△72
法人税等合計	3,684	5,471
中間純利益	7,413	12,119
親会社株主に帰属する中間純利益	7,413	12,119

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	7,413	12,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	77	35
為替換算調整勘定	600	△332
その他の包括利益合計	677	△296
中間包括利益	8,090	11,822
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,090	11,822

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	11,097	17,590
減価償却費	2,429	2,862
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	—
固定資産除売却損益(△は益)	30	74
受取利息及び受取配当金	△243	△336
補助金収入	△87	△1,347
固定資産圧縮損	42	1,323
売上債権の増減額(△は増加)	1,599	△4,920
棚卸資産の増減額(△は増加)	△733	△5,993
仕入債務の増減額(△は減少)	164	△239
その他	△338	1,319
小計	13,899	10,332
利息及び配当金の受取額	243	336
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,065	△3,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,077	6,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	23	—
有形固定資産の取得による支出	△8,471	△8,984
有形固定資産の売却による収入	9	18
無形固定資産の取得による支出	△29	△82
投資有価証券の取得による支出	△40	△1
投資有価証券の売却による収入	189	—
補助金の受取額	187	2,497
その他	30	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,100	△6,632
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△4	△2
配当金の支払額	△579	△629
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584	△631
現金及び現金同等物に係る換算差額	320	△239
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	712	△817
現金及び現金同等物の期首残高	71,568	66,986
現金及び現金同等物の中間期末残高	72,280	66,169

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,950	4,164	33,115	—	33,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	5	△5	—
計	28,955	4,165	33,120	△5	33,115
セグメント利益	10,945	702	11,648	△804	10,843

(注) 1. セグメント利益の調整額△804百万円には、セグメント間取引消去46百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△851百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	セラミック部品 事業	照明機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,879	5,041	46,921	—	46,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	1	9	△9	—
計	41,887	5,043	46,931	△9	46,921
セグメント利益	17,806	890	18,697	△1,091	17,605

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,091百万円には、セグメント間取引消去48百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,140百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。